

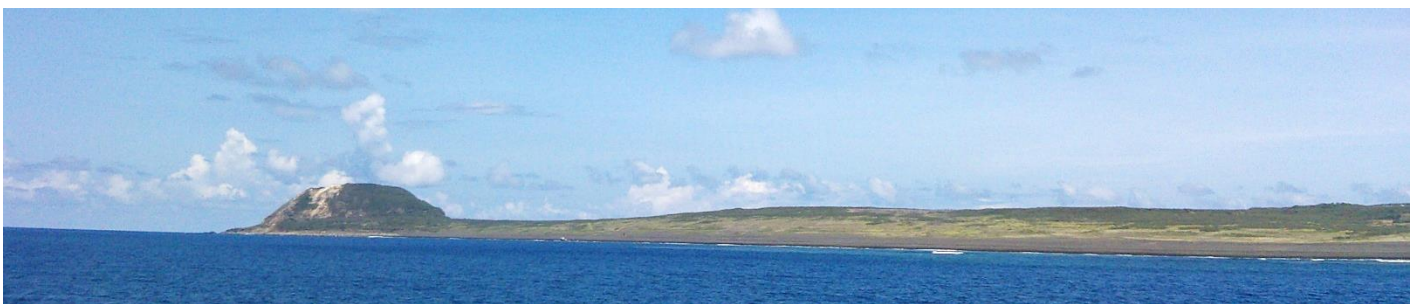
硫黄島訪島事業 ～洋上慰霊祭を終えて～

6月30日、母島沖港を出発した2年生は、父島にて小笠原中学校の2年生と共に合同出発式を行い、おがさわら丸に乗って二見港から出港しました。代表の言葉や司会など緊張しながらも協力して取り組み、学年目標の通り“信頼を築き挑戦し続ける”姿が見られてよかったです。

7月1日は早朝から南硫黄島を観察し、アカオネツタイチョウなどの鳥をたくさん見ることができました。洋上慰霊祭では緊張した様子が見られましたが、何度も練習を重ねた誓いの言葉には強い気持ちが込められているようで、その場にいた人々の心に響いたことでしょう。みんなで協力して作成した千羽鶴も無事に届けることができました。



事前学習で鑑賞した「硫黄島からの手紙」で何度も出てきた“摺鉢山”を実際に見て、しばらく言葉を失い、上陸できずただ見つめるしかできない悔しさを感じているのか、「遺骨収集ってどうやったらできるのかな」と話す姿が印象的でした。午後は北硫黄島を観察した後に硫黄島協会の方の講演があり、その中で遺骨収集に携わる人々や詳しい作業の流れなどのお話を聞いて、ボランティアなどで関わることもできるかもしれないと希望をもつことができました。



今回は硫黄島3島クルーズに参加している一般の方が多く乗船しており、珍しい鳥の写真を撮るためにカメラを構える人がたくさんいる中で、南硫黄島や北硫黄島の観察を共に楽しみ、慰霊祭では気持ちを切り替えて厳かな空気の中、平和への誓いを述べました。また、船内で小笠原中学校の生徒たちと協力して生活した時間など、充実した3日間だったと思います。私たちが戦争の歴史や痛みを風化させずに次の代に伝えていかなければならない、ということを改めて強く思った今回の旅でした。学んだことを、行くことができなかったクラスの仲間や、後輩、そしてご家族にたくさん話してほしいと思います。

